

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請（3号機破損燃料用輸送容器の追加）に係る面談
2. 日時：令和2年2月27日（木）13時35分～16時20分
3. 場所：原子力規制庁 9階会議室
4. 出席者
原子力規制庁 原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
知見主任安全審査官、松井安全審査官、高木技術参与
検査グループ 専門検査部門
宮崎上席原子力専門検査官
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
プロジェクト計画部 担当3名

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、実施計画の変更認可申請（3号機破損燃料用輸送容器の追加）について、資料に基づき以下の説明があった。
 - 補正申請を予定している内容
 - ✓ 3号機構内用輸送容器の基数及びバスケットの個数の明確化、安全評価に係る補足書の追加等
 - 前回面談までのコメントに対する回答
 - ✓ 破損燃料用輸送容器（2体）に係る除熱機能検査の必要性検討時に想定した燃料条件

○原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、破損燃料用輸送容器（2体）に係る除熱評価における設計基準温度の設定の考え方等、これまでに未回答のコメントについても回答すること等を求めた。

6. その他

資料：

- 【補足説明資料】破損燃料用輸送容器に係る実施計画Ⅱ章の変更について